

## 2023 年度 関私教協 第 5 回幹事校会議事録

1. 日時：2023 年 8 月 28 日（月）17:00～19:00
2. Zoom 会議
3. 出席者

【幹事】高瀬 幸恵(桜美林大学・事務局長) 池田 賢市、高木 雅史(中央大学・事務局次長)、尾高 進(工学院大学)、小林 大祐(慶應義塾大学)、田村 真広(日本社会事業大学)、富山 尚子 [青木 研作代理] (東京成徳大学)、後藤 正矢(多摩美術大学)、伊東 毅、谷川 美の理(武蔵野美術大学)、白石 一徳(文化学園大学)、森田 満夫(立教大学)、河村 久、田中 直樹(聖徳大学)、北村 篤司、横澤田 朋美(昭和音楽大学)、堀井 英一(東京国際大学)、新田 司(千葉敬愛短期大学)

【事務担当】岩井瑞恵 (桜美林大学)

【オブザーバー】黒岩友見子 (桜美林大学)

4. 2023 年度第 4 回幹事校会議事録の確認  
高瀬事務局長より、第 4 回幹事校会議事録（案）が示され、承認した。

### 5. 協議

#### 【報告事項】

##### (1) 研究部の活動について

- ・第 1 部会：第 1 回の部会で決定した活動方針に基づき、アンケート調査を実施する予定。調査票の作成を進める。オンラインやオンデマンド方式を用いて活動を行う。
- ・第 2 部会：大学組織と教職課程の関係について、卒業生や実務家教員との協力関係について、教員採用や教職志望者減少に対する組織上の課題・対策について、教職課程担当事務職員と教員との関係についてといったテーマについて検討する予定。他の部会との合同での開催を検討中。第 2 回の部会は 9 月の上旬を予定している。
- ・第 3 部会：教員採用試験前倒し実施が教職課程カリキュラムに与える影響の分析と対応策について検討する。第 2 回は Zoom で 9/28 に開催予定。現段階での取り組み状況についてアンケートを実施し、情報共有を図る。
- ・第 4 部会：実習の取り組み状況・課題の検討、実習記録の検討、幼稚園教員養成課程の設置科目の検討、基幹教員の問題などについて各校の取り組みを情報共有していく。第 2 回は 9 月中旬以降に当面での実施を計画している。
- ・第 5 部会：教員採用選考の前倒し・複線化に対する自治体の対応や大学の取り組みについて質問紙による調査を行い、実態を共有する。主としてオンラインでの部会の実施となる予定。
- ・第 6 部会：教育実習におけるハラスメント防止対策のための取り組みに関する実態調査を計画。次回の幹事校会において調査の倫理審査を依頼したい。
- ・第 7 部会：7/21 に部会を開催した。理科教育法を担当している方に学習指導案の作成と模擬授業の実施について報告をして頂いた。次回は 9/15 に実施する予定で懇親会を計画している。
- ・第 8 部会：多様な専門性を有する教師の養成に関連した課程認定基準の改訂およびカリキュラムのモデル開発や、省令改正について検討する。プロジェクトチームを作り次回の部会の準備を進める。
- ・千葉・茨城地域：7/28 に第 1 回部会および定期総会を開催した。19 大学から 36 名の参加があった。テーマは「大学設置基準の改正にどう取り組むか」であった。

##### (2) 広報部の活動について

- ・新田広報部長から、『会報』第 94 号の発行にむけて、7/28 に広報部と事務局とで打ち合わせを行ったこと、また今後の編集スケジュールおよび進捗状況について報告があった。12/1 に発行予定である。

##### (3) 2023 年度研究部総会、第 1 回研究部会、第 1 回研究懇話会の報告について

- ・高瀬事務局長から、資料に基づいて参加者数について報告があった。

##### (4) 全私教協 2023 年度 第 2 回理事会報告について

- ・高瀬事務局長から、資料に基づいて報告があった。
- (5) 次期幹事校へのアプローチと2027年度以降の会長校の選出について
- ・高瀬事務局長から、2023年度で幹事の任期を終える8大学については、次期幹事候補となる大学にアプローチをしてもらいたい旨の依頼があった。関私教協会会長校・幹事校担当表に基づき、第一候補からアプローチをしていくこととなった。(千葉・茨城地域については茨城キリスト教大学を予定している。北部地域は芝浦工業大学に打診をして承諾を得ている。短期大学は東京成徳短期大学に依頼をしている。)
  - ・高瀬事務局長から、会長校については2025-26年度千葉工業大学の後が未定となっており、2024年度5月の総会で輪番表の作成について承認を得た後、同年7月に臨時総会でもってくじ引きを実施するという計画が示された。

#### 【審議事項】

##### (1) 2023年度 第2回研究懇話会について

- ・高瀬事務局長から、第2回研究懇話会の実施形態(オンラインかハイフレックスか)について相談があった。小林研究部長から準備の進捗状況について報告(第6部会と連絡を取りながら構想している)があり、ハイフレックスの場合、会場をどの大学が担当するかが課題となることが示された。継続審議とする。

##### (2) 2024年度 定期総会、合同研究大会、研究部総会、第1回研究部会について

- ・高瀬事務局長から、2024年5月の定期総会および7月の研究部総会等のプログラム、実施形態、会場について相談があり、定期総会はハイフレックス開催としたい旨の提案があった。資料に基づきながら会場について検討を行った。また、来年度以降の研究合同大会および研究懇話会の持ち方についても審議を行った。継続審議とする。

#### 【配付資料】

資料1 : 2023年度研究部総会、第1回研究部会、第1回研究懇話会開催報告

資料2 : 2023年度 第2回 全私教協理事会報告(要点のみ)

資料3 : 関私教協会会長校・幹事校担当表

資料4-1 : <関私教協 総会・合同研究大会、研究懇話会、研究部総会・研究部会>開催日程・会場提供校一覧(過去6年)

資料4-2 : 関私教協2018年度定期総会、合同研究大会、情報交換会通知

資料4-3 : 関私教協2018年度研究部総会、第1回研究部会、第1回研究懇話会通知

以上